

無料公開連続セミナー

アイヌを学ぶ3ヶ月



北海道大学アイヌ・先住民研究センターでは一般市民の方々を主な対象として、アイヌ民族に関する知識を分かりやすく学べる「公開連続セミナー」を開講します。考古学から法学まで、複数の視点からアイヌ民族・アイヌ文化を巡る諸問題に迫るプログラムです。

なるべく多くの方に参加していただけるよう、「毎週木曜日の夕方」という時間設定にいたしました。週1回3か月間の合計12回の連続セミナーです。ぜひ通してご参加ください。学生のみなさんの参加も大歓迎です。

セミナーの開講日程

開講日程	講義題目	講師
7月 5日	アイヌ民族の宗教文化	北原次郎太
7月12日	アイヌ民族の宗教文化	北原次郎太
7月19日	モノからみるアイヌ文化	山崎 幸治
7月26日	モノからみるアイヌ文化	山崎 幸治
8月 2日	アイヌ語の世界	丹菊 逸治
8月 9日	アイヌ語の世界	丹菊 逸治
8月23日	ハワイ先住民とアイヌ民族の法的立場	落合 研一
8月30日	ハワイ先住民とアイヌ民族の法的立場	落合 研一
9月 6日	考古学から見たアイヌ文化の成立過程	加藤 博文
9月13日	考古学から見たアイヌ文化の成立過程	加藤 博文
9月20日	アイヌを描いた絵から分かること	佐々木利和
9月27日	先住民族と政策	常本 照樹

お申込み方法

申込期間：6月4日(月)～6月25日(月)(先着順。定員に達し次第募集終了)

開催日時：7月5日(木)～9月27日(木)(8月16日を除く毎週木曜日)

全12回 18時30分～20時00分

開催場所：北海道大学

受講料：無料(教材費も無料)

受講対象(定員)：一般市民(高校生以上)50名

申込方法：別紙の「無料公開連続セミナー申込書」を持参、郵送、ファックスのいずれかの方法により、下記申込先にご提出ください。会場となる教室・教材などの詳細は、お申込みをいただいた方に後日改めてお伝えいたします。

申込・問い合わせ先

北海道大学アイヌ・先住民研究センター

〒060-0808 札幌市北区北8条西6丁目

TEL&FAX 011-706-2859

セミナーの内容

🌿講師・講義内容🌿

🌿「アイヌ民族の宗教文化」 北原次郎太

アイヌ民族は「独特の」宗教文化をつちかってきたと言われています。映像や音声もまじえながらその具体的な内容について解説するとともに、「独特」と思われている文化と周囲の文化との意外なつながりを紹介します。

🌿「モノからみるアイヌ文化」 山崎幸治

人類にとって物質文化(モノ)は最も重要な文化のひとつです。本講は、アイヌの物質文化として民具に注目しながら展開します。海外の博物館に所蔵されているアイヌの民具も紹介しながら、アイヌ文化の多様性と今後の可能性について考えてみたいと思います。

🌿「アイヌ語の世界」 丹菊逸治

アイヌ語は日本語とは系統が異なる別言語です。現在では使用人口もきわめて少なくなりましたが、新たに学びたいという人も増えています。アイヌ語とその口承文化をご紹介します。

🌿「ハワイ先住民とアイヌ民族の法的立場」 落合研一

ハワイ先住民は、合衆国ではインディアン法に基づいて認定された「トライブ」ではありません。しかし、民族としての法的地位を確立しようと様々な運動を展開しています。こうした事例からアイヌ民族がえられる示唆とは…。

🌿「考古学から見たアイヌ文化の成立過程」 加藤博文

北海道島に展開した先史文化は本州島における歴史文化とは異なる様相を有しています。近年の考古学研究や人類学研究の成果を取り込みながら、北海道島における近世以降のアイヌ文化へ連なる歴史文化の多様性を検討します。

🌿「アイヌを描いた絵から分かること」 佐々木利和

19世紀半ば以前のアイヌ文化に絵を描くという行為はありませんでした。彼ら自身は自らの姿や文化を紙の上には残さなかったのです。しかし、アイヌを描いた絵はたくさんあります。それはアイヌ史を学ぶ史料となるのでしょうか。それらの絵を見ながら考えてみましょう。今回は平澤屏山の新資料もご紹介できるかと思っています。

🌿「先住民族と政策」 常本照樹

先住民族であるということから、どのような政策が導かれるのでしょうか。先住権とは何なのでしょう。先住民族政策としてのアイヌ政策の可能性と課題について考えます。



北海道大学アイン・先住民研究センター

■TEL・FAX／011-706-2859 ■E-mail／ainu@let.hokudai.ac.jp

■ホームページ／<http://www.cais.hokudai.ac.jp>